

国語	第3学年	1年間の学習内容とねらい
----	------	--------------

国語科の目標

- (1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけます。また、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てます。
- (2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけます。また、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てます。
- (3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけます。また、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てます。

評価の観点・方法

- 国語科では、次の五つの観点で学習の評価します。
- 【評価の観点】
- ①国語への関心・意欲・態度
国語に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
- ②話す・聞く能力
自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
- ③書く能力
自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。
- ④読む能力
目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
- ⑤言語についての知識・理解・技能
表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につけている。書写では文字を正しく整えて速く書く。
- 【評価の方法】
- ☆授業の取り組み態度。
☆ノート・ワークブック・宿題・課題の提出状況。☆硬筆・毛筆の作品。
☆スピーチ・発表会・話し合い活動の状況。
☆小テスト。(漢字テスト・復習テスト・暗記・暗唱テスト・課題作文)
☆定期テスト。(中間テスト・期末テスト)

特色ある学習方法

- 漢字練習や音読、朗読、視写、聴写、暗唱などを多く取り入れて国語の基礎的な力を養います。
- 発表(個人・グループ)やスピーチ、作文、話し合い活動など様々な学習形態を取り入れて、生徒が主体となる授業を展開します。
- 同一内容の文章を読み比べたり、有名な文学作品を読み味わったりします。専門家の朗読のCDを聴いたり、映画化された文学作品の視聴もします。
- 様々な団体や協会の主催する作文や書道コンクールに応募しています。
- 市の行事にあわせて俳句作品や書道作品の参加をしています。
- 「漢字検定」を年三回実施しています。

	学習内容	学習のねらい
前期	1 深まる学びへ 春に 握手 社会との関わりを伝えよう 言葉①和語・漢語・外来語 硬筆展	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。 ・作者の思い、ものの見方や感じ方をとらえる。 ・人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる。 ・社会生活の中から関心のある事柄を決め、取材を重ねて考えを深める。 ・和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・形に注意しながら正しく、美しい文字を書く。
	2 視野を広げて 月の起源を探る 魅力的な紙面を作ろう 漢字①熟語の読み方 俳句の可能性 言葉を選ぼう 文法①すいかは幾つ必要?	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈の中における語句や図などに注意して読み、筆者の論理の展開をとらえる。 ・聞き手の反応に応じて説明を工夫し、聴き取った内容を自分の表現に生かす。 ・熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。 ・俳句について理解し、表現の深さを味わう。 ・場の状況等に応じて言葉の選び方や伝え方を考え、互いの考えに生かせるようにする。 ・文の成分の順序や構成など、文法についての理解などを深め、日常生活での表現や読解に生かす。
	3 読書生活を豊かに 批評の言葉をためる 高瀬舟 未来の私にお薦めの本	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を持って本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定、表現のしかたなどから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。
中期	4 状況の中で 挨拶—原爆の写真によせて 故郷 言葉②慣用句・ことわざ・故事成語 推敲して文章を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に表現されている主張を現実の世界の在り方と対応させて読み取る。 ・人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら読み、社会と人間の関わりを考える。 ・情景や人物の描写に着目し、心情や作者の意図を読み取る。 ・慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・構成を工夫し、書いた文章を読み返して文章全体を整える。
	5 いにしへの心と語らう 古今和歌集 仮名序 君待つと —万葉・古今・新古今— 夏草「おくのほそ道」から	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣いに注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう。 ・和歌の効果的な表現や語句の使い方をとらえ、昔の人の思いや情景を読み味わう。 ・作者のものの見方や感じ方をとらえる。 ・文語文を表現の仕方や文体の特徴に注意して読み味わう。
後期	6 論旨を捉えて 作られた「物語」を超えて 話し合っ提案をまとめよう 文法②「ない」の違いがわからない ネット時代のコペルニクス 漢字②漢字の造語力 書き初め展	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開のしかたをとらえて内容の理解に役立てるとともに、構成や展開について評価する。 ・2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・情報化社会の可能性と困難について考え、自分の意見を持つ。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、使うことができる。 ・形に注意しながら筆を用いて正しく、美しい文字を書く。 ・3年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、ポートフォリオの構成を工夫し、作品を評価し合うことで自分の表現に役立てたり、ものの見方や考え方を深めたりする。
	7 未来に向かって 三年間の歩みを振り返ろう 誰かの代わりに わたしを束ねないで	